

リズムに学ぶ

ハーディ・ガナーデイ ワークショップ

楽器の
構造

演奏
方法

ダンス

参加無料
要事前予約
詳細は裏面へ

2025/6/14(土)

13:00~18:00

ところ 関西学院張記念館
兵庫県西宮市上甲東園1-11-12





リズムに学ぶ

ハーディ・ガーディ ワークショップ

「ハーディ・ガーディ」とは？

中世以来ヨーロッパで広く演奏されてきた弦楽器、ハーディ・ガーディ。古楽ブームも相まって、近年、日本でもさまざまな場面で演奏されるようになりました。

このイベントは、ハーディ・ガーディの歴史や種類についての講演、楽器構造や奏法についての実演を交えた解説、みなさんと一緒に演奏する初心者・経験者向けのワークショップから構成されています。この機会にぜひお越しください。

申込方法

入場無料（要事前申込）

2025年6月8日（日）までに

右記QRコードからお申し込みください

気になるプログラムのみ参加や、
見学のみも可能です



お問い合わせ

ハーディ・ガーディ・ワークショップ実行委員会
hal28march@gmail.com（木村）

講師・出演



木村遥 (KIMURA Haruka)

関西学院大学非常勤講師、日本学術振興会特別研究員PD。博士（芸術学）。17世紀から18世紀にフランスで確立されたバグパイプとハーディ・ガーディの演奏習慣に注目し、民俗音楽が宮廷音楽に取り入れられていく過程の解明に取り組んでいる。



吉川智大 (YOSHIKAWA Tomohiro)

スペイン・ビーゴ市立美術工芸学校ハーディ・ガーディ製作専攻修了。同市立伝統音楽院でA. Pintos氏に演奏を師事。帰国後は製作の他、コンサートや録音、踊り会等で活動。現地での経験を活かし、幅広いレパートリーを風景が見えるようなアレンジで演奏している。



大竹啓司 (OTAKE Keiji)

伝統楽器の復興が起こった時期のフランスに滞在し、ハーディ・ガーディに出会う。パリのフォーククラブ「ブルドゥン」の会員となり楽器を習い覚える。現在、南山大学大学院国際地域文化研究科博士前期課程でハーディ・ガーディを対象に研究中。



レジス・フルリー (Régis FLOURY)

弦楽器製作家・修復家。パリ国立文化遺産学院卒業。フランスやスペインの博物館で楽器修復・保存に従事。同時に、ビーゴ市立美術工芸学校でハーディ・ガーディ製作を学ぶ。卒業後にHylicaを設立し、古典的な手仕事の普及にも取り組んでいる。



近藤治夫 (KONDO Haruo)

古楽バグパイプ演奏家・製作家。ヨーロッパ中世・ルネサンスの音楽を演奏する「ジャングル・ボン・ミュージシャン」代表。中世民衆音楽の担い手である放浪楽師（ジャングル）に着目し、その音楽・精神を現代にどう甦らせるかをテーマに活動中。



サリー・ラン (Sally Lunn)

様々な演奏経験の後に巡り逢った、天然古材から復元された西洋古楽器の響きの美しさに衝撃を受け、古楽器演奏に傾倒。中世の音風景が蘇るような物語性ある音楽舞台を創造している。暮らしの古楽ボスク・フルイテル主宰。

プログラム

① 13:00～14:00 講演

「18世紀の教則本にみるホイールの分割」
「楽器製作技術と演奏機能の維持について」

② 14:15～16:45 演奏ワークショップ

「フレンチ基本編・応用編」「スペイン編」

※ 楽器をお持ちでない方はお申込み時にご相談ください

③ 17:00～17:30 ダンスワークショップ

「西洋の舞踊形式バル・フォークをおどろう」

会場アクセス

関西学院張記念館（西宮市上甲東園1-11-12）

阪急今津線「甲東園」駅より徒歩5分

※ 関西学院大学西宮上ヶ原キャンパス内にはございません

※ 駐車場はございませんので公共交通機関をご利用ください

